

平成 24 年度第 4 回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 24 年 9 月 10 日 16 時～16 時 33 分
開催場所	小山田記念温泉病院第 3 会議室
出席委員	毛受、鈴村、北村、山中、牧野、家崎、浅野、大西 (敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	下剤に頼らず、自然排便ケアを目指す ～チームアプローチによる取り組み～
研究名	野原 英治
研究内容 要旨	長時間の臥床や運動不足により、腸内活動が低下し、自然排便が促されていない患者 8 名（「内訳」経管栄養者 4 名、経口摂取者 4 名）を対象にし、運動療法・食事療法の観点から、他職種との連携を図る。その後、3 ヶ月を通じた排便の変化をアセスメントする。
審議結果	条件付承認（確認は委員長一任）
意見	説明文を訂正する。 本来、人は・・・通常であるが→不要。 強制的に排便されている→適切な表現に改める。 対象者をピックアップする→対象となる基準を明確にする。 協働→あまり使わない用語であるので、よく使う用語に改める。
新規研究計画の審議	
申請者	笹川 千恵子
研究名	エリスロポエチン製剤注射時の疼痛緩和を試みて ～皮下注射手技の工夫と検討～
研究内容 要旨	エリスロポエチン製剤の注射時、普段の注射より痛みが強いと訴える患者様が多いと感じ、注射手技や方法を工夫することによって痛みの軽減が図れないかと考えた。
審議結果	差し戻し
意見	4 種類の注射条件で注射を実施することを患者に説明する。 4 種類の注射条件で（痛みの程度は別として）、治療効果に差がないことを文献などで確認する。患者にも説明する。 補償の有無について記載する。 データベースへ登録する。
書類送付による審議	
申請者	平尾 奈緒美
研究名	在宅介護者の負担感とその要因について
研究内容 要旨	在宅で介護をしている主介護者の介護負担感とその関連とされる要因について調査し、リハビリテーションにおける介護者への介入の必要性を検討する。
審議結果	承認
意見	前回指摘された箇所が適切に修正されている。